

栗原市病院事業経営健全化計画

平成 23 年度

— 重点取組事項等に対する点検・評価報告書 —

栗原市立病院経営評価委員会

【 所管：栗原市病院事業 医療局医療管理課 】

目 次

平成23年度重点取組事項等に対する点検・評価報告書

1 栗原中央病院の取組みに対する意見等	-----	1
2 若柳病院の取組みに対する意見等	-----	2
3 栗駒病院の取組みに対する意見等	-----	2
4 総括	-----	3

資料1 平成23年度重点取組事項に係る自己点検・評価

■ 栗原中央病院	-----	4～5
■ 若柳病院	-----	6～7
■ 栗駒病院	-----	8～9

《自己点検・評価の記載項目》

- 1 病院の果たすべき役割（経営方針）
- 2 取組実績に対する点検
 - (1) 医療機能確保の視点
 - (2) 財務の視点
 - (3) 業務プロセスの視点
 - (4) 学習と成長の視点
- 3 収支計画及び決算（収益的収支）
- 4 主な経営指標及び実績
- 5 自己評価（病院総括）

[添付資料]

別紙1 市立3病院収支計画書	-----	10～12
別紙2 市立3病院経営指標	-----	13～15

資料2 栗原市立病院経営評価委員会委員	-----	16
---------------------	-------	----

資料3 栗原市立病院経営評価委員会設置要綱	-----	17
-----------------------	-------	----

栗原市病院事業経営健全化計画点検・評価報告書

栗原市病院事業から提出された「平成23年度重点取組事項に係る自己点検・評価」及び「決算関係資料」を基に、栗原市病院事業経営健全化計画における市立3病院の取組実績の点検を行った結果は、次のとおりである。

平成24年11月 6日

栗原市立病院経営評価委員会

委員長 小山田 恵

1 栗原中央病院の取り組みに対する意見等

医療機能確保の視点では、平成23年4月の常勤医師数は対前年同月比較で3名、経営健全化計画初年度の平成19年同月比較では8名の増員となった。病院経営の根幹となる医師招へいは、地方では非常に困難とされるが、経営健全化計画を積極的に推進した結果、体制の強化が図られた。さらに、平成22年3月からの7対1看護師配置基準の継続に努めたことなどにより、医業収益が対前年度比較で21,012千円の増収につながっている。

財務の視点では、東日本大震災等の影響により、1日平均入院患者数が対前年度比較で8.7人減少したことや、法定福利費及び退職手当組合負担金の負担率の上昇に伴う職員給与費の増加などが大きく影響し、当年度収支においては210,988千円の純損失となった。

しかしながら、減価償却費を除いた損益については84,879千円のプラスとなっていることは評価すべきである。また、人件費増については「将来収益獲得能力のある費用」であり、「開発費」として効果の及ぶ期間で償却という解釈も可能であると考え。今後は医療機器の購入金額の交渉や、委託経費の精査、さらには診療材料や薬品の購入単価を抑えるなど、全職員が一体となって経費を節減する努力が必要であると考え。

業務プロセスの視点では、平成23年4月にDPC対象病院として診療体制を整備し、医師の負担軽減を図るため、平成24年2月に電子カルテシステムを導入するなど、栗原医療圏の急性期医療を担う病院としての機能が充実し、今後の専門医の招へいに向けても効果は非常に大きい。しかし、病床利用率が過去3年間で70%を超えていないという状況であり、過疎化、少子高齢化が進行する栗原医療圏において安定した経営を維持していくためには、近隣医療圏域を含めた地域連携を積極的に推進していく必要がある。

学習と成長の視点においては、認定看護師の育成やコメディカル部門のスキルアップなど

人材育成に取り組んでおり、今後も積極的に推進することで良質な医療の提供が継続できるものとする。

栗原医療圏の中核病院として医療体制が着実に強化されてきており、経営面にも如実に反映されている。今後は、さらなる経営健全化を目指して、医師招へい、病床利用率の向上、費用の抑制など、なお一層の努力が望まれる。

2 若柳病院の取り組みに対する意見

平成 23 年度当初の常勤医師数が 5 名であったが、外科の休診や年度途中での医師の退職により、病院機能の維持が困難な事態となっている。平成 19 年度以降、経常収支比率が 100% 以上の黒字経営を継続してきたが、慢性的な医師不足により、当年度収支は 54,586 千円の純損失となった。しかしながら、1 日平均入院患者数 99.1 名、同外来患者数 203.7 名、さらに在宅診療や救急対応などを行い、減価償却費を除いた損益については 48,267 千円のプラスとなったことは、その努力に敬意を表したい。

医師の専門志向が益々強くなる中、地域医療を担う医師招へいは非常に困難である。さらには院長、副院長が高齢となり、退職時期が近づいているため、その後継者の招へいも大きな課題である。

地域医療を維持・継続するため、医師招へいを喫緊の課題として取り組み、さらなる発展を期待したい。

3 栗駒病院の取り組みに対する意見

地域の開業医の無床化、後継者不足の中で、栗駒病院の果たすべき役割は大きなものがある。

平成 23 年度は、病床利用率が 86.2%と計画値に届かなかったが、一般病床利用率は 88.5%、療養病床利用率は 82.7%と高い状況にある。さらに、経常収支比率は 104.2%、純利益が 30,426 千円となり、減価償却費を除いた損益については 102,573 千円のプラスとなっている。

しかしながら、若柳病院と同様に地域医療を担う医師招へいが喫緊の課題である。さらには、職員給与費比率が 60%を超えており、人事異動による交流も含めた医療スタッフの若返りも必要と考える。

これからも地域に密着した病院としての医療を提供できるよう、課題解決に向けて努力してほしい。

4 総括

平成 23 年度は、未曾有の東日本大震災によって、被災地からの患者の受け入れや、南三陸町の避難所開設による診療応援などを行い、甚大な被害を受けた沿岸部等を支援する中、通常診療を行いながら経営健全化推進のための事業も実施してきた。

当年度収支においては、栗原中央病院と若柳病院が純損失になったが、減価償却費を除いた損益は 3 病院とも全て黒字であり、当病院事業における関係各位の努力に敬意を表する。このことは、病院経営健全化計画に基づき、地方公営企業法全部適用により設置した病院事業管理者を中心として、経営の効率化を推進する事業を展開した成果であると考え。

しかしながら、過疎化や少子高齢化の進行する栗原地域において安定した経営を維持するためには、医師招へいを主とした医療スタッフの充実や医療機能の向上、病床利用率の増加などの課題を今後どのように克服していくかということである。特に、若柳病院や栗駒病院における地域医療を担う医師招へいは喫緊の課題である。

さらには、経営には負担となるものの、公的病院の役割として、救急医療体制の充実や産科、小児科等の専門医の招へいなどの課題にも対応していくことが必要であると考え。

平成 19 年度から推進してきた経営健全化計画も最終年度となり、平成 24 年度からは新たな第二次経営健全化計画として推進することとなるが、限られた医療資源を最大限に活用し、地域医療のモデルとして発展することを期待したい。

病院名	栗原中央病院
-----	--------

1 病院の果たすべき役割（経営方針）

地域の中核病院として、高度医療や二次救急医療の役割を担い、急性期医療を中心に小児から成人・高齢者に至るまで、幅広い年代層への医療の提供、また、栗原地域の災害時における災害拠点病院としての機能、さらに、基幹型臨床研修指定病院としての役割を担っています。

また、市民が必要な時に“安全”で“安心”できる医療を提供できるように努めるとともに、市立3病院・5診療所間はもとより、市内一次医療機関や近隣医療機関との病病連携・病診連携を図り、市民に質の高い適切な医療を安定的に提供します。

2 取組実績に対する点検

(1) 医療機能確保の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
医師の招へい	平成23年度の招へい医師数 内科4名、外科1名、整形外科1名、麻酔科1名、放射線科1名 常勤医師数（各年度4/1現在） H21：20名、H22：25名、H23：28名	・常勤医師の招へい：婦人科・泌尿器科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・神経内科 各1名、小児科2名／・非常勤医師の招へい：療養病棟専門医師1名
7対1看護職員配置基準の継続	平成22年3月から7対1看護職員配置基準を継続している。	看護師の負担軽減のための看護補助者の増員（夜間配置を含む）

(2) 財務の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
医業収益の確保	・7対1看護職員配置基準の継続（月額15,000千円程度の増収） ・基本診療料の施設基準取得（H23年度新規届出：9施設基準）	・急性期看護補助体制加算「25対1」及び「夜間50対1」の取得 ・施設基準の点検
DPC導入に伴う診療体制の整備	・入院時検査の外来対応による診療単価の増（H23：8,280円、前年度比較+782円） ・在院日数の短縮（H23：15.5日、前年度比較△0.9日）	・診断名のコーディング研究（DPCコーディング委員会、医局会） ・在院日数の短縮が空床につながらないような患者確保対策

(3) 業務プロセスの視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
電子カルテシステムの円滑なシステム稼働	・平成24年2月稼働（システム運用推進委員会による導入準備と検証作業） ・医療情報管理室の設置による関連情報及びシステムの一元管理（兼務2名、専任SE2名）	システム導入に伴う業務改善 ・紙カルテ運用の中止 ・医師の負担軽減を図るための医療クレークの増員 ・医事業務委託内容の見直し ・外部委員による評価
病院機能評価の受審準備	平成25年1月のVer.6受審に向けた体制整備（準備会議2回、受審のための委員会・小委員会設置）	具体的な受審準備を担当する小委員会の計画的な開催による自己点検の強化

(4) 学習と成長の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
認定看護師の育成	緩和ケア認定看護師の養成 (H23年度受験合格、H24年度研修:1名) ◆認定看護師:感染管理1名、皮膚・排泄ケア2名、がん化学療法1名 (通院治療室へ配置)	認定看護師の位置付け ・感染管理室の設置 (認定看護師の配置による感染管理の充実) ・WOC看護活動の推進 (調査・研究等ができる環境づくり)
コメディカル部門の研修機会の拡充	所属別ヒアリングの実施、新年度研修計画の作成指示	研修目的の明確化 (スキルアップ、施設基準更新など)

3 収支計画及び決算 (収益的収支)

(単位:千円)

区分	H21年度		H22年度		H23年度	
	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算額
医業収益	3,546,886	3,231,096	3,546,886	3,632,174	3,546,886	3,653,186
医業外収益	413,944	654,094	408,004	692,160	401,940	673,411
特別利益	0	0	0	315	0	1,077
合 計	3,960,830	3,885,190	3,954,890	4,324,649	3,948,826	4,327,674
医業費用	3,721,937	3,802,180	3,705,925	4,075,445	3,693,628	4,247,100
医業外費用	256,516	271,071	249,410	263,678	242,156	283,723
特別損失	663	23,827	663	1,006	663	7,839
合 計	3,979,116	4,097,078	3,955,998	4,340,129	3,936,447	4,538,662
当年度経常損益	▲17,623	▲188,061	▲445	▲14,789	13,042	▲204,226
当年度純損益	▲18,286	▲211,888	▲1,108	▲15,480	12,379	▲210,988
累積欠損金	▲4,619,609	▲5,002,460	▲4,620,717	▲5,017,940	▲4,608,338	▲5,228,928

※詳細は、資料1「市立3病院収支計画及び決算」のとおり。地方公営企業決算状況調査による数値。

4 主な経営指標及び実績

(単位:%)

	H20年度		H21年度		H22年度		H23年度	
	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績
経常収支比率	96.3	97.1	99.6	95.4	100.0	99.7	100.3	95.5
病床利用率	79.3	71.4	80.0	65.7	80.0	69.7	80.0	66.8
職員給与費比率	51.3	54.5	50.3	55.2	50.5	52.9	50.7	55.2
不良債務比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※詳細は、資料2「市立病院経営指標」のとおり。

5 自己評価 (病院総括)

平成23年度は、対前年4月比較で常勤医師が3名増員し、また、7:1看護職員配置基準の継続に努めた結果、患者数の伸びは見られなかったが、医業収益が対前年度比較で21,012千円の増となり、一般会計繰入金減額などがあったものの、収益合計で3,025千円の増収につながった。

しかし、法定福利費及び退職給与金 (退職手当組合負担金) の負担率の改正などに伴い、職員給与費が対前年度比較で94,811千円増額したことが大きく影響し、収支差引額 (当年度純損益) は△210,988千円となった。

平成22年度の改善結果を励みに、職員一同、目的意識を持ち取り組んできたが、収支上での改善を図ることはできなかった。

今後は、電子カルテの導入効果が現れるような業務改善の推進、DPC対策、患者の確保対策を強化するなど、病院が果たすべき役割を常に意識した医療の提供に努めていきたい。

平成23年度重点取組事項に係る自己点検・評価

病院名	若柳病院
-----	------

1 病院の果たすべき役割（経営方針）

「生活医療圏」の中での医療の提供、そのための「地域密着型慢性期医療」の基幹病院として、また、在宅医療・訪問看護・介護支援の拠点として、中核病院・地域診療所等との連携を図りながら、初期診療における総合的な判断と診療を行い、救急については一次救急はもとより、可能な限りの二次救急を行い、地域住民に信頼される病院を目指します。

2 取組実績に対する点検

(1) 医療機能確保の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
医師充足率の確保 常勤外科医の招へい	医師配置特例の適用を受けながら、医師の招へいに向け努力をしてきた。 平成23年度は内科医2名を招へいすることができたが、平成23年12月に内科医1名が退職し、平成24年3月には整形外科医1名が退職した。	当院の医師充足率を満たすためには8名の医師が必要となり、内科医2名と外科医1名を招へいすることが課題となっている。

(2) 財務の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
未収金の発生防止と回収策の検討、督促の強化	夜間休日の預かり金の実施や、文書、電話による督促及び訪問徴収の実施。	入院・外来とも患者数が減ってきており、在院日数を延ばさずに病床稼働率を上げる。 不納欠損の基準を作り、未収金の削減を図る。

(3) 業務プロセスの視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
後発医薬品使用体制加算の施設基準取得 地域医療研修の受入れ施設としての研修内容の充実 訪問体制の充実・強化	22年8月に後発医薬品使用体制施設加算の基準を取得。 仙台社会保険病院並びに仙台医療センターより地域医療研修生を受け入れている。	診療報酬基準改定に伴う、新たな施設基準や医療点数の検討、取得。

(4) 学習と成長の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
他病院、医療局との連携による情報と意識の共有化	医療の安全と院内感染に重点をおき医療機器の取扱い、感染制御の基礎知識他、月2回程度の研修会を実施。	各種研修会の開催により、技術の向上と意識の改革を図る。

3 収支計画及び決算（収益的収支）

（単位：千円）

区分	年度	H21 年度		H22 年度		H23 年度	
		計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算額
医業収益		1,678,580	1,714,251	1,678,580	1,565,487	1,678,580	1,482,983
医業外収益		188,188	182,795	187,320	207,980	185,838	176,352
特別利益		0	0	0	1,990	0	1,661
合 計		1,866,768	1,897,046	1,865,900	1,775,457	1,864,418	1,660,996
医業費用		1,777,108	1,750,149	1,747,928	1,660,867	1,716,574	1,604,925
医業外費用		110,091	111,087	108,790	107,398	106,566	105,363
特別損失		481	952	481	2,855	481	5,294
合 計		1,887,680	1,862,188	1,857,199	1,771,120	1,823,621	1,715,582
当年度経常損益		▲20,431	35,810	9,182	5,202	41,278	▲50,953
当年度純損益		▲20,912	34,858	8,701	4,337	40,797	▲54,586
累積欠損金		▲40,479	43,138	▲31,778	47,475	9,019	▲7,111

※詳細は、資料1「市立3病院収支計画及び決算」のとおり。地方公営企業決算状況調査による数値。

4 主な経営指標及び実績

（単位：%）

区分	H20 年度		H21 年度		H22 年度		H23 年度	
	計画値	実 績	計画値	実 績	計画値	実 績	計画値	実 績
経常収支比率	98.9	101.2	98.9	101.9	100.5	100.3	102.3	97.0
病床利用率	92.5	91.6	92.5	93.4	92.5	90.9	92.5	82.6
職員給与費比率	50.8	49.6	51.0	48.1	51.2	51.7	51.5	55.9
不良債務比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※詳細は、資料2「市立病院経営指標」のとおり。

5 自己評価（病院総括）

慢性的な常勤医師不足の状況で非常勤医師や診療所医師の診療応援により診療を行ってきたが、平成22年度末の外科医師の定年退職後、外科を休診し、さらに内科医師1名が年度途中で退職したため、入院、外来患者数は前年度より減少した。

また、病院長・副院長が高齢となり退職時期が近づいているため、後任医師の招へいも重要課題となっている。

平成23年度重点取組事項に係る自己点検・評価

病院名	栗駒病院
-----	------

1 病院の果たすべき役割（経営方針）

<p>地域に密着した良質な医療を提供し、地域住民の健康を守ることに全力を尽くします。「和顔愛語」「恕」の精神で多くの地域住民から愛される病院を目指します。</p>

2 取組実績に対する点検

(1) 医療機能確保の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
地域連携の推進	23年度の紹介率は18.4%となり0.9%低下したが、逆紹介率は26.8%と4.4%向上しており、一定の成果があった。	地域医療連携室の活用等により、更なる紹介率向上と地域連携の充実を図る。

(2) 財務の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
病床利用率の向上と平均在院日数の短縮	23年度の病床利用率は86.2%となり、前年度より若干低下したが、平均在院日は17.0日となり前年度より1.1日短縮した。	地域住民が年々減少している中で、患者数を確保しながら在院日数を維持するように努める。

(3) 業務プロセスの視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
医療安全の充実	リスクマネジメント委員会 12回 リスクカンファレンス 43回 医療機器安全管理委員会 12回 院内研修 4回、延べ 122名 院外研修 6回、延べ 17名	各種研修会の伝達研修や院内研修の充実を図り、医療事故防止に努める。

(4) 学習と成長の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
専門性の向上 各種研修の充実	医療安全研修、プリセプター研修会への参加。 院内においても医療安全研修や院内感染対策研修を行っている。	今後も院内研修の充実を図るとともに、積極的に院外研修を受講できる環境を作る。

3 収支計画及び決算（収益的収支）

（単位：千円）

区分	H21 年度		H22 年度		H23 年度	
	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算額
医業収益	839,177	753,638	839,177	776,251	839,177	819,776
医業外収益	160,363	167,572	160,165	177,906	159,612	171,675
特別利益	0	0	0	656	0	10,019
合 計	999,540	921,210	999,342	954,813	998,789	1,001,470
医業費用	991,801	919,341	995,088	913,458	1,000,084	913,658
医業外費用	52,483	36,528	52,086	37,848	50,980	37,694
特別損失	449	19,858	449	713	449	19,692
合 計	1,044,733	975,727	1,047,623	952,019	1,051,513	971,044
当年度経常損益	▲44,744	▲34,659	▲47,832	2,851	▲52,275	40,099
当年度純損益	▲45,193	▲54,517	▲48,281	2,794	▲52,724	30,426
累積欠損金	61,160	▲73,883	12,879	▲71,089	▲39,845	▲40,663

※詳細は、資料1「市立3病院収支計画及び決算」のとおり。地方公営企業決算状況調査による数値。

4 主な経営指標及び実績

（単位：%）

	H20 年度		H21 年度		H22 年度		H23 年度	
	計画値	実 績	計画値	実 績	計画値	実 績	計画値	実 績
経常収支比率	106.7	96.8	95.7	96.4	95.4	100.3	95.0	104.2
病床利用率	79.4	65.5	90.7	80.4	90.7	87.7	90.7	86.2
職員給与費比率	60.5	69.8	60.0	66.6	60.2	65.3	60.5	61.2
不良債務比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※詳細は、資料2「市立病院経営指標」のとおり。

5 自己評価（病院総括）

病床利用率は前年度より若干低下したものの、平均在院日数の短縮等に伴う診療単価の増等により病院事業収益は前年度比 46,657 千円の増となった。病院事業費用は経費縮減に努めたが、震災に伴う建物設備の修繕費等もあり 19,025 千円の増となった。その結果、前年度に引き続き 30,426 千円の黒字となり、経常収支比率は 104.2%となった。

多くの地域住民に病院を利用していただき、地域に密着し信頼される医療機関として一定の役割を果たすことができた。

別紙1 市立3病院収支計画及び決算

1 栗原中央病院

(単位：千円)

区分	年度	H21年度		H22年度		H23年度	
		計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算額
1	医業収益	3,546,886	3,231,096	3,546,886	3,632,174	3,546,886	3,653,186
	(1) 入院収益	2,549,598	2,176,445	2,549,598	2,515,290	2,549,598	2,468,694
	(2) 外来収益	767,928	723,174	767,928	762,023	767,928	846,551
	(3) その他医業収益	115,396	139,255	115,396	141,262	115,396	136,561
	(4) 他会計負担金	113,964	192,222	113,964	213,599	113,964	201,380
2	医業費用	3,721,937	3,802,180	3,705,925	4,075,445	3,693,628	4,247,100
	(1) 給与費	1,783,734	1,783,958	1,791,309	1,923,212	1,798,920	2,018,023
	(2) 材料費	619,771	561,914	619,771	626,741	619,771	608,820
	(3) 経費	1,005,252	1,128,718	1,006,124	1,201,335	1,007,001	1,307,211
	(4) 減価償却費	302,752	309,827	278,293	312,941	257,508	295,867
	(5) 資産減耗費	2,000	9,673	2,000	2,064	2,000	6,990
	(6) 研究研修費	8,428	8,090	8,428	9,152	8,428	10,189
	医業損失／医業利益	-175,051	-571,084	-159,039	-443,271	-146,742	-593,914
3	医業外収益	413,944	654,094	408,004	692,160	401,940	673,411
	(1) 受取利息配当金	0	639	0	3,237	0	1,089
	(2) 他会計補助金	96,858	144,757	96,858	149,440	96,858	200,300
	(3) 補助金	25,610	30,251	24,680	43,159	23,730	48,080
	(4) 負担金交付金	275,796	441,026	270,786	453,580	265,672	383,194
	(5) その他医業外収益	15,680	37,421	15,680	42,744	15,680	40,748
	(6) 雑収益	0	0	0	0	0	0
4	医業外費用	256,516	271,071	249,410	263,678	242,156	283,723
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	191,447	194,364	184,341	187,507	177,087	180,336
	(2) 繰延勘定償却	0	0	0	0	0	0
	(4) 雑支出	65,069	76,707	65,069	76,171	65,069	103,387
	経常利益／経常損失	-17,623	-188,061	-445	-14,789	13,042	-204,226
5	特別利益	0	0	0	315	0	1,077
	(1) その他特別利益	0	0	0	315	0	1,077
6	特別損失	663	23,827	663	1,006	663	7,839
	(1) 過年度損益修正損	663	2,403	663	680	663	344
	(2) その他特別損失	0	21,424	0	26	0	116
	(3) 臨時損失	0	0	0	300	0	7,379
	当年度純利益／純損失	-18,286	-211,888	-1,108	-15,480	12,379	-210,988
	前年度繰越利益剰余金／欠損金	-4,601,323	-4,790,572	-4,619,609	-5,002,460	-4,620,717	-5,017,940
	当年度未処分利益剰余金／未処理欠損金	-4,619,609	-5,002,460	-4,620,717	-5,017,940	-4,608,338	-5,228,928

※端数については、四捨五入のため合計が合わない箇所があります。

※地方公営企業決算状況調査より。

2 若柳病院

(単位：千円)

区分	年度	H21年度		H22年度		H23年度	
		計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算額
1	医業収益	1,678,580	1,714,251	1,678,580	1,565,487	1,678,580	1,482,983
	(1) 入院収益	1,110,258	1,118,746	1,110,258	1,005,379	1,110,258	921,373
	(2) 外来収益	425,932	442,422	425,932	440,053	425,932	426,097
	(3) その他医業収益	58,390	56,754	58,390	48,102	58,390	46,432
	(4) 他会計負担金	84,000	96,329	84,000	71,953	84,000	89,081
2	医業費用	1,777,108	1,750,149	1,747,928	1,660,867	1,716,574	1,604,925
	(1) 給与費	856,663	823,776	860,231	809,880	863,813	828,494
	(2) 材料費	336,198	317,864	336,198	252,820	336,198	210,567
	(3) 経費	411,497	436,710	411,885	457,144	412,274	459,851
	(4) 減価償却費	170,867	169,120	137,731	139,206	101,906	102,853
	(5) 資産減耗費	210	820	210	391	710	1,619
	(6) 研究研修費	1,673	1,859	1,673	1,426	1,673	1,541
	医業損失／医業利益	-98,528	-35,898	-69,348	-95,380	-37,994	-121,942
3	医業外収益	188,188	182,795	187,320	207,980	185,838	176,352
	(1) 受取利息配当金	0	80	0	908	0	54
	(2) 他会計補助金	28,421	26,769	28,421	33,200	28,421	39,997
	(3) 補助金	7,898	10,156	7,898	8,568	7,898	7,405
	(4) 負担金交付金	148,847	143,372	147,979	162,897	146,497	126,041
	(5) その他医業外収益	3,022	2,418	3,022	2,407	3,022	2,855
	(6) 雑収益	0	0	0	0	0	0
4	医業外費用	110,091	111,087	108,790	107,398	106,566	105,363
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	69,771	70,785	68,470	69,712	66,246	67,712
	(2) 繰延勘定償却	8,251	8,251	8,251	8,251	8,251	8,251
	(4) 雑支出	32,069	32,051	32,069	29,435	32,069	29,400
	経常利益／経常損失	-20,431	35,810	9,182	5,202	41,278	-50,953
5	特別利益	0	0	0	1,990	0	1,661
	(1) その他特別利益	0	0	0	1,990	0	1,661
6	特別損失	481	952	481	2,855	481	5,294
	(1) 過年度損益修正損	481	946	481	957	481	451
	(2) その他特別損失	0	6	0	2	0	6
	(3) 臨時損失	0	0	0	1,896	0	4,837
	当年度純利益／純損失	-20,912	34,858	8,701	4,337	40,797	-54,586
	前年度繰越利益剰余金／欠損金	-19,567	8,280	-40,479	43,138	-31,778	47,475
	当年度未処分利益剰余金／未処理欠損金	-40,479	43,138	-31,778	47,475	9,019	-7,111

※端数については、四捨五入のため合計が合わない箇所があります。

※地方公営企業決算状況調査より。

3 栗駒病院

(単位：千円)

区分	年度	H21年度		H22年度		H23年度	
		計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算額
1	医業収益	839,177	753,638	839,177	776,251	839,177	819,776
	(1) 入院収益	523,686	458,101	523,686	504,087	523,686	501,024
	(2) 外来収益	206,785	191,708	206,785	197,442	206,785	202,841
	(3) その他医業収益	29,019	23,753	29,019	26,058	29,019	28,662
	(4) 他会計負担金	79,687	80,076	79,687	48,664	79,687	87,249
2	医業費用	991,801	919,341	995,088	913,458	1,000,084	913,658
	(1) 給与費	503,529	502,190	505,573	507,171	507,628	501,917
	(2) 材料費	102,680	85,049	102,680	83,819	102,680	86,395
	(3) 経費	281,383	256,289	281,069	247,546	281,391	251,274
	(4) 減価償却費	103,062	73,821	104,619	72,864	107,238	72,147
	(5) 資産減耗費	100	652	100	820	100	684
	(6) 研究研修費	1,047	1,340	1,047	1,238	1,047	1,241
	医業損失／医業利益	-152,624	-165,703	-155,911	-137,207	-160,907	-93,882
3	医業外収益	160,363	167,572	160,165	177,906	159,612	171,675
	(1) 受取利息配当金	0	29	0	553	0	21
	(2) 他会計補助金	25,801	16,236	25,801	27,764	25,801	43,921
	(3) 補助金	0	0	0	139	0	0
	(4) 負担金交付金	126,263	138,484	126,065	141,466	125,512	118,947
	(5) その他医業外収益	8,299	12,823	8,299	7,984	8,299	8,786
	(6) 雑収益	0	0	0	0	0	0
4	医業外費用	52,483	36,528	52,086	37,848	50,980	37,694
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	34,311	21,842	33,914	22,199	32,808	21,847
	(2) 繰延勘定償却	4,950	4,015	4,950	3,999	4,950	3,999
	(4) 雑支出	13,222	10,671	13,222	11,650	13,222	11,848
	経常利益／経常損失	-44,744	-34,659	-47,832	2,851	-52,275	40,099
5	特別利益	0	0	0	656	0	10,019
	(1) その他特別利益	0	0	0	656	0	10,019
6	特別損失	449	19,858	449	713	449	19,692
	(1) 過年度損益修正損	449	156	449	87	449	67
	(2) その他特別損失	0	19,702	0	0	0	
	(3) 臨時損失	0	0	0	626	0	19,625
	当年度純利益／純損失	-45,193	-54,517	-48,281	2,794	-52,724	30,426
	前年度繰越利益剰余金／欠損金	106,353	-19,366	61,160	-73,883	12,879	-71,089
	当年度未処分利益剰余金／未処理欠損金	61,160	-73,883	12,879	-71,089	-39,845	-40,663

※端数については、四捨五入のため合計が合わない箇所があります。

※地方公営企業決算状況調査より。

別紙2 市立3病院経営指標

1 栗原中央病院

経営指標項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
①病院機能評価	計画					
	実績	Ver.5.0 認定				
②1日平均入院患者数	計画	230.0人	240.0人	240.0人	240.0人	
	実績	206.9人	197.2人	209.1人	200.4人	
③1日平均外来患者数	計画	480.0人	480.0人	480.0人	480.0人	
	実績	414.5人	423.9人	418.2人	419.0人	
④紹介率	計画	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	
	実績	35.4%	32.9%	39.6%	45.5%	
⑤逆紹介率	計画	40.0%	40.0%	45.0%	50.0%	
	実績	19.5%	20.5%	21.5%	31.5%	
⑥医業収益比率	計画	89.2%	89.5%	89.7%	89.8%	
	実績	82.4%	83.2%	84.0%	86.0%	
⑦病床利用率	計画	79.3%	80.0%	80.0%	80.0%	
	実績	71.4%	65.7%	69.7%	66.8%	
内 訳	一般病床	計画	82.0%	84.0%	84.0%	84.0%
		実績	73.5%	68.8%	72.3%	66.7%
	療養病床	計画	62.5%	60.0%	60.0%	60.0%
		実績	58.0%	50.3%	56.8%	67.7%
⑧ 平均入院単価	計画	29,368円	29,105円	29,105円	29,105円	
	実績	28,925円	30,244円	32,958円	33,661円	
内 訳	一般病床	計画	31,120円	31,120円	31,120円	31,120円
		実績	30,476円	32,284円	35,652円	36,543円
	療養病床	計画	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
		実績	16,655円	16,308円	15,816円	15,632円
⑨平均外来単価	計画	6,530円	6,530円	6,530円	6,530円	
	実績	6,768円	7,049円	7,498円	8,280円	
⑩経常収支比率	計画	96.3%	99.6%	100.0%	100.3%	
	実績	97.1%	95.4%	99.6%	95.5%	
⑪平均在院日数 (一般病床)	計画	17.0日	17.0日	17.0日	16.0日	
	実績	18.6日	17.0日	16.4日	15.5日	

※医業収支比率、経常収支比率、平均在院日数は、地方公営企業決算状況調査より

2 若柳病院の経営指標及び実績

経営指標項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
①病院機能評価	計画					
	実績					
②1日平均入院患者数	計画	111.0人	111.0人	111.0人	111.0人	
	実績	110.0人	112.0人	109.1人	99.1人	
③1日平均外来患者数	計画	250.0人	250.0人	250.0人	250.0人	
	実績	235.4人	234.7人	218.2人	203.7人	
④紹介率	計画	18.0%	20.0%	20.0%	20.0%	
	実績	27.2%	32.2%	32.8%	35.0%	
⑤逆紹介率	計画	28.0%	30.0%	30.0%	30.0%	
	実績	32.7%	36.9%	49.7%	44.9%	
⑥医業収益比率	計画	89.9%	89.9%	90.0%	90.0%	
	実績	89.6%	90.4%	88.2%	92.4%	
⑦病床利用率	計画	92.5%	92.5%	92.5%	92.5%	
	実績	91.6%	93.4%	90.9%	82.6%	
内 訳	一般病床	計画	92.2%	92.2%	92.2%	92.2%
		実績	90.9%	93.2%	88.7%	79.9%
	療養病床	計画	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%
		実績	93.8%	93.7%	97.6%	90.6%
⑧ 平均入院単価	計画	27,404円	27,404円	27,404円	27,404円	
	実績	27,201円	27,356円	25,243円	25,412円	
内 訳	一般病床	計画	31,588円	31,588円	31,588円	31,588円
		実績	31,343円	31,176円	28,624円	29,140円
	療養病床	計画	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
		実績	15,167円	15,956円	16,026円	15,557円
⑨平均外来単価	計画	6,954円	6,954円	6,954円	6,954円	
	実績	7,504円	7,789円	8,299円	8,573円	
⑩経常収支比率	計画	98.9%	98.9%	100.5%	102.3%	
	実績	101.2%	101.9%	100.3%	97.0%	
⑪平均在院日数	計画	18.0日	18.0日	18.0日	18.0日	
	実績	19.9日	21.5日	22.0日	20.0日	

※医業収支比率、経常収支比率、平均在院日数は、地方公営企業決算状況調査より

3 栗駒病院の経営指標及び実績

経営指標項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
①病院機能評価	計画					
	実績					
②1日平均入院患者数	計画	77.0人	68.0人	68.0人	68.0人	
	実績	63.5人	60.3人	65.8人	64.6人	
③1日平均外来患者数	計画	162.0人	162.0人	162.0人	162.0人	
	実績	148.5人	145.7人	136.9人	134.6人	
④紹介率	計画	20.0%	20.0%	25.0%	30.0%	
	実績	12.6%	15.5%	19.3%	18.4%	
⑤逆紹介率	計画	35.0%	35.0%	35.0%	35.0%	
	実績	26.8%	23.0%	22.4%	26.8%	
⑥医業収益比率	計画	84.9%	84.0%	84.0%	84.0%	
	実績	83.3%	81.8%	81.3%	89.7%	
⑦病床利用率	計画	79.4%	90.7%	90.7%	90.7%	
	実績	65.5%	80.4%	87.7%	86.2%	
内 訳	一般病床	計画	78.0%	91.1%	91.1%	91.1%
		実績	69.4%	80.9%	90.6%	88.5%
	療養病床	計画	80.9%	90.0%	90.0%	90.0%
		実績	61.3%	79.6%	83.5%	82.7%
⑧ 平均入院単価	計画	19,044円	21,099円	21,099円	21,099円	
	実績	19,967円	20,807円	20,992円	21,180円	
内 訳	一般病床	計画	24,564円	25,116円	25,116円	25,116円
		実績	24,148円	24,613円	24,781円	24,955円
	療養病床	計画	13,378円	15,000円	15,000円	15,000円
		実績	14,926円	15,003円	14,826円	15,119円
⑨平均外来単価	計画	5,027円	5,210円	5,210円	5,210円	
	実績	5,219円	5,439円	5,935円	6,175円	
⑩経常収支比率	計画	106.7%	95.7%	95.4%	95.0%	
	実績	96.8%	96.4%	100.3%	104.2%	
⑪平均在院日数	計画	19.0日	18.0日	18.0日	18.0日	
	実績	19.9日	20.6日	18.1日	17.0日	

※医業収支比率、経常収支比率、平均在院日数は、地方公営企業決算状況調査より

栗原市立病院経営評価委員会委員

《資料2》

(平成24年8月1日から)

No	所 属	役職名	氏 名	備 考
1	全国自治体病院協議会	名誉会長	小山田 惠	○委員長 (岩手県)
2	日本医療文化研究会	主 宰	茨 常 則	○副委員長 (東京都)
3	(財) 大原総合病院	名誉院長	有 我 由紀夫	○副委員長 (福島県)
4	山形市立病院済生館	館 長	平 川 秀 紀	(山形県)
5	国立病院機構 盛岡病院	事務部長	伊 藤 幸 淑	(岩手県)
6	栗原市医師会	議 長	宮城島 堅	(栗原市)
7	(社) 宮城県看護協会	会 長	上 田 笑 子	(仙台市)
8	宮城県総務部	市町村課長	伊 藤 哲 也	(仙台市)
9	矢川昌宏公認会計士事務所	代 表	矢 川 昌 宏	(石巻市)
10	栗原市企業連絡協議会	会 長	小 山 信 康	(栗原市)

(敬称略)

栗原市立病院経営評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 栗原市病院事業経営健全化計画（以下「計画」という。）に基づく取組状況、計画の見直し等に関する事項及び市立病院事業の経営全般について評価、検討等を実施し、市立病院事業の経営健全化等を図ることを目的として栗原市立病院経営評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 計画に基づく取組状況、計画の見直し等に関すること。
- (2) 市立病院の経営全般について評価、検討等を実施すること。
- (3) その他病院事業管理者が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、病院事業管理者が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 医療関係者
- (3) その他病院事業管理者が必要と認める者

3 委員の任期は3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選任する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第6条 委員会は、必要があると認めるときは、議事に係る関係者又は専門家に対し、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は必要な書類の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、医療局医療管理課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成20年12月 1日から施行する。

平成24年 7月 1日 一部改正

(会議の招集の特例)

2 この告示の施行後、最初に開かれる会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、病院事業管理者が招集する。

栗原市病院事業 医療局 医療管理課

〒987-2205

宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

TEL 0228-21-5631 FAX 0228-21-5632

ホームページ <http://www.kam.or.jp/>

メールアドレス medical@kuriharacity.jp